

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	独語第一		
英文授業科目名	Elementary German I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	吉田 文子(学内連絡教官 坂本 真樹)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
f.yoshida@gold.ocn.ne.jp	

【主題および達成目標】
ドイツ語初級文法の習得。 ドイツ語の発音に慣れること。ドイツ語は英語に比べて基本的に変化が多い言語です。 動詞の人称変化はもとより、ドイツ語の大きな特徴であると名詞の格変化が理解でき、格を使いこなせるようになること。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：練習中心・小ドイツ語文法、荻野蔵平、同学社 辞書：特に指定はしませんが、第1回目の授業で紹介をします。

【授業内容とその進め方】
発音 Lektion1：動詞の人称変化 Lektion2、3：名詞の性と冠詞、名詞の格変化 Lektion4、5：不規則動詞、人称代名詞、前置詞 Lektion6：冠詞類、接続詞 教科書の以上の7課を12ないし13回で進みます。

電気通信大学 平成16年度シラバス

まず文法の説明をし、その後に教科書の練習問題にあたって理解できたかどうかをチェックします。1課が終わるごとに、その課の文法項目で読める短文解釈を宿題に課します。
試験は期末に一回のみですが、授業中に小テストは行ないます。辞書は必ず持参するように。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

期末試験を主たる評価対象（約70%）とし、授業中の態度、小テストおよび宿題演習・宿題の結果（約30%）を勘案し総合評価します。

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とします：

1. 動詞の人称変化
2. 名詞の格変化および格の使い方を理解すること

【オフィスアワー：授業相談】

質問等は電子メールで受け付けます。

【学生へのメッセージ】

ドイツ語は非常に論理的な言語です。さらに英語と違って解釈の糸口となるヒントを様々な形で表示します。それをできるだけ早く会得すれば初級文法はさほど難しいものではありません。ただし前提となる語彙がなければどうしようもないので、声に出して発音し、音になれて、記憶してください。語学に近道はありません。それにかけた時間に比例して結果がでます。毎日こつこつ、短時間でいいのでドイツ語に触れてください。

【その他】